

私たちの年金

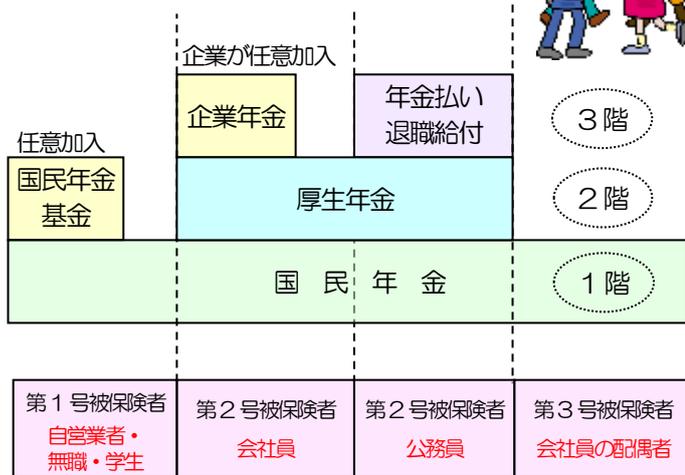
日本は世界有数の長寿国です。65歳で現役をリタイアしたとして、老後の生活が15~20年、人によってはさらに長い期間となるでしょう。その生活を支える一番の収入源は「公的年金」です。みなさまのところにも年金記録が届いているのではないのでしょうか。今や公的年金制度は、世代を問わず関心のある問題。基礎をしっかりと把握しておきましょう。



①公的年金制度

あなたは第何号被保険者？

《公的年金の仕組み》



日本国内に住所のある20歳~60歳未満の方は、全員「国民年金」への加入が義務付けられています。

*自営業者や無職の方は、国民年金だけに加入しており、学生でも20歳になったら加入しなければなりません（この方達を第1号被保険者といいます）。

*サラリーマンや公務員の方は「国民年金」に加え「厚生年金」に加入し、2階建ての年金制度になっています（この方達を第2号被保険者といいます）。第2号被保険者は、将来年金を受け取る時には、2つの制度から年金を受給するので「国民年金」にだけに加入している方よりも受け取る年金額は多くなります。また、大企業に勤めるサラリーマン等は「確定給付企業年金」などの企業年金に、公務員は「年金払い退職給付（旧・職域年金）」に加入しているので、さらに年金の上乗せ支給があります。

*第2号被保険者に扶養されている配偶者は第3号被保険者に該当し、保険料の負担はありません。



公的年金からの給付の種類は3種類！

老齢年金

資格期間（10年）を満たした方が65歳になったときに給付され、終身支給されます。いわゆる「年金」であり、老後の生活費となります。

障害年金

病気やけがで障害が残ってしまった時、一定の要件を満たせばその障害の程度に応じて支給されます。

遺族年金

年金の加入者や受給資格を満たした方が亡くなられた場合、一定の要件を満たす遺族に対して支給されます。

《日本人の平均寿命》 男性 81.47歳 (+0.07歳) 女性 87.57歳 (+0.12歳) (前年比)
 《必要と考える老後の生活費》 最低日常生活費 平均 月23.2万円/ゆとりある生活 平均 月37.9万円
(生命保険文化センター「生活保障に関する調査」令和4年度版)

定年後の支出

「生活費に使える額」とは、年収から税金や各保険料などを差し引いた額になります。定年後は現役時代と比べ年収は減少しますが、各保険料も減少し、基本的には財産を形成することがなくなることから、支出も減少することになります。

定年によって不要となる支出の例

- ・会社員としての交際費・食費、被服代
- ・子どもの教育・扶養費用
- ・払込満了となる生命保険や損害保険料
- ・厚生年金保険料
- ・雇用保険料

定年によって必要となる支出の例

- ・近所付き合いの交際費
- ・趣味や生きがいのための費用
- ・配偶者の国民年金保険料
- ・国民健康保険料

など
「生命保険文化センター」より

◆ライフプラン等のご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
(掲載記事 2024年7月現在 改-13)

静岡市駿河区宮竹1丁目15-5
 TEL 054-236-1488 FAX 054-236-1487
 URL <https://www.groove-fp.com/>

Groove
 株式会社グルーヴ